

# 入 選

## レンガひとつひとつに

### 刻まれた時

栗原崇至様

# 入 選



私の癒やしのガーデンストーリーは、今から25年以上前、都市を襲った未曾有の大災害「阪神淡路大震災」から始まりました。被災した実家、生まれ育った街は壊滅、変わり果てた状況から、一時は茫然となりましたが、これまでのすべてについて見つめなおす大きな変化点になりました。

その後、これから先の人生を考え、縁もゆかりもない信州への移住を決意しました。広大な自然に囲まれたこの地を選んだ理由は、幼いころから動植物

や昆虫などさまざまな生き物が好きで癒やされてきたことが理由でした。

しかし、見知らぬ場所では楽しいことばかりではなく、未経験なことやわからないこと、慣れないことも多く、日々さまざまな課題に向き合い、新たなストレスにもなっていました。そのような中、自宅を建てる機会に恵まれ、ここから我が家の庭づくりがスタートしました。

最初に決めたことは、ゴールは決まずデザインから制作まで、すべてDIYで英国調のガーデンを作ることでした。

いつ終わるかわからない、気が遠くなるような庭づくりのスタートでしたが、気がつけば10000個以上のレンガを使用した、25年以上の歳月が流れていきました。まだ、庭づくり作業は終わっていませんが、ひとつひとつのレンガに嬉しい時や楽しい時、苦しい時そして悲しい時などさまざまな思いが刻まれています。

最初は自分自身が癒やされたいの思いで始めた庭づくりですが、家族そして近所の方へと広がり、今では遠方よりオーブンガーデンに訪れて下さる方々の癒やしの場になりました。また、多くの野生動物や野鳥などの集いの場にもなっており、その愛らしい姿や美しい声、そして夜はフクロウの声と月明かり、満天の星、流れ星、そして夜景にも癒やされています。

我が家を訪れてくださった方々には、ゆつくりとくつろいだ時間を過ごしていただきたく、庭で収穫したハーブや野菜、そしてブルーベリーやアンズ、クッキングアップルなどの果樹を使って、味覚でも楽しめるように心がけています。

現在、このコロナ禍において、直接お会いすることが難しい中、SNSなどを通じて、ご自分の庭のように様子を気にかけてくださったり、再会を楽しみにされているお話が熱くなります。

1日そして四季を通して、同じ表情を見せない庭を眺めながら、これからはレンガの数が1つ増えるごとに、新しい思い出と癒やしが増えていくことと思います。

#### 講評

思いがけず訪れた大震災という人生の分岐点で、自身が求める自然環境に思い至って移住したことは、ガーデンセラピーへとつながる第一歩だったようですね。新しい暮らしを求めた先で思いがけない苦労とストレスがあっても、家作りという大仕事をきつかけにして、庭づくりを自らすべて手がけるという前向きな行動があつてこそ今がある。挫折もせず25年以上もの時をかけて、植物が健康やかに育つ場所をレンガで整えながら、自身の暮らしを整えることにもつながっていったのですね。プロ顔負けの庭の仕上がりには、栗原さんが丁寧にレンガを積みながら、庭と真摯に向き合ってきた日々を感じます。

これからも自然を感じ、食の恵みが豊かに育まれる庭を拠点に、ご自身も、そして周りの人々たちも癒やすガーデンセラピーが実践される場として、数々の喜びが生まれることを期待しています。



GARDEN STORY  
ガーデンストーリー  
編集部